

〈学習の導入〉

- ・ 鉛筆はノートにはさんで閉じる。準備はいいですか。腰を立てて挨拶します。
- ・ 一つ忘れていたことがあって。皆さんの目を見せてもらおうのを忘れていました。見せてね。ああ、よかった。

T 今日で「かいがら」の工藤先生とのお勉強は終わりだからね。読んでもらいます。

(順番の確認をする。)

T 読む人は立って大きな声で、ゆっくり読んでください。聞く人は教科書を持って聞いてください。

(1あゆむ 2はる 3ひなた 4ゆい 5ことな 6けいご。あゆむが読めない。「立って読みにくい？なら座ろう。」と声を掛け、指で押さえてあげながら支援する。)

T よし、本を置いてください。先生がもう一回読みます。じゃ、本を持ってね。

T また本を静かに置いてください。

T 教科書に書いてないこと聞くよ。くまの子とうさぎの子、どこに住んでいると思う。

C 森と・・・ニンジンが植えてある場所。

C 森の中の家。 C 海に囲まれた島。

C 山の中。 C 森と広場みたいな。。 C 森と村。

C たぶんですけど、絵を見ると、くまは家の中、うさぎはどこか。

T わたしもそう思う。ただ、海の近くではないと思う。

これ、分かる？(二つの貝の絵を板書する。)

T 拾ってきた貝の中で一番くまの子が気に入ってたのは。

C 縞模様の貝がらです。

T 桃色の貝がらは何番目。

C 二番目です。

T 海で拾ったときから、うさぎの子にあげたいと思っていたのはどちらですか。

C 桃色の方。

T 一目目、くまの子はうさぎの子に貝がらをあげることが・・・？

C できなかった。

T どうしてできなかった。

C うさぎの子は縞模様の貝がらが一番好きだったから。

T うさぎの子も縞模様が一番と言ったんだよ。くまの子は夜、考えたよ。

何のことを考えたか分かるか。

C 貝がらのこと。

T だれのことを考えた。

C うさぎの子です。

T 最後は何あげたんだっけ。 C 縞模様の貝がら。



T どうして縞模様の貝がらをあげたのかな。今日はそれをノートに書いて確かめます。考えます。

(書く部分の確認をする。)

T 鉛筆を出して。ちょっと長いよ。(Cあ..絶対書けない。)

書けるところまででいいから、ゆっくり、丁寧に書こう。

(児童と一緒に黒板に書き始める。途中、様子を見て机間指導。)

T そこまでにして。鉛筆はノートにはさんでください。そして閉じます。机の中に戻してください。

T よし。皆さんの書くのを見せてもらいました。皆さんしっかりした字できちつと書いていましたよ。書き終わらなかった人、家に帰って書いてみるといいんですよ。

T 読むよ。最初は声を出さないよ。口は動かしてもいいからね。

T 今度は、声出してね。うまいね。

T 分からない言葉ある？ C ないです。

T 誰が言ったか確かめようか。

(会話文を一つずつ確認。児童が④、⑤と答え始める。)

T 誰が言ったの。

C うさぎの子です。

C くまの子です。

T さて、「だって」はどういうこと。

C 「だって」が一番好きなものだから。

T それはくまちゃんの一番好きなものでしょう、だって・・・、と言っただよ。

T じゃ、「それ」は何のこと。 C 貝がらのことです。

T どっちの？ C 縞模様の貝がらです。

T 分けますよ。お話したところが、前と最後。真ん中は。

C ナレーター。

C 思ったところ。

T そう、思ったところですよ。

T くまの子は何をした。

C うさぎの子が一番好きな貝がらをあげた。

T ここで言うとき？ C 決めた。

T 決めました。何を決めたの。

C うさぎの子に縞模様の貝がらをあげること。

T ここ(黒板)で言うとき。

C 友達には一番いいものをあげよう。

T そう、一番いいものをあげようと決めたんだよ。だれに。

C うさぎの子。

T ここで言うとき。

C 大好きな友達。

T 大好きな友達には(「には」を○で囲む)一番いいものをあげようと

(「と」を○で囲む)決めたんだよ。



* なかなか集中できない児童もいる。
* 「」を改行せず、そのまま書く様子も見られる。
* 10:05

* 指黙読。
* 指音読。

* 「⑤」と発言すると言い直させる。

- T こっちのお話で言うと。
- C うさぎの子です。
- T この中（黒板）では。
- C うさぎちゃん。
- T 一番いいものをこっち（前の部分）では何て言ってる。どの言葉分かる？
- C いちばんすきなもの。
- T 今のお話をこの言葉を使って説明できないかな。（「だから」を囲む。）
- T くっだからあげたんでしょ。だれか説明できない？
- C 「くまの子はくっだからあげたんだ。」って説明できない？やってみる？
- C 大好きな子には、いいものをあげるって書いてあるから、いいものをあげる。
- T いい線いってる。「だから」を使ってうまく・・・。
- C 「そう」みたい。「うん、そうだよ。」の「そう」。
- T そう。だからあげるんだ。「そう」って何だ。
- C ……
- C 何か、分からないところがあるんですけど。「すきなものでしょう」の「う」が分からない。「でしょ。」と言えはいいのに。
- T 「でしょう」っていう言い方もあるよ。
- ・・・
- T 「だから」の説明がんばった。くまの子はうさぎちゃんのこと、何なの・・・好きな友達なんですよ。
- T 一番いいものは何。 C 縞模様の貝がら。
- T だから・・・好きな友達はうさぎちゃんだから何をあげるの。
- C 縞模様の貝がら。
- T 読みます。 （指音読。「うまい。」とほめながら。
- T はい。うさぎの子はくまの子の気持ち、分かったかな。
- C 分かった！

